

社会的活動報告

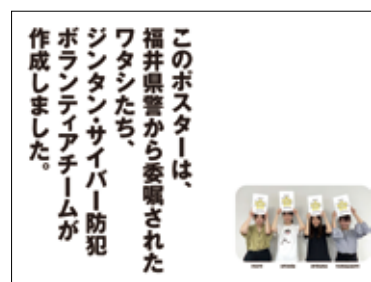
インターネット犯罪の被害防止に協力／福井県警サイバー犯罪対策課
サイバー防犯ボランティアが、スマホの危機を伝える。

生活科学学科 生活情報デザイン専攻 西畑ゼミ
小林音巴・塩田和・柴田瑞希・森井美樹



◀ コピーとピクトグラムでデザインした啓発ポスターの一部。左上(緑)小林さん、右上(紫)森井さん、左下(赤)柴田さん、右下(青)塩田さんが担当しました。

発表のタイトルに使用した、4人の紹介スライド。▼



福井県警がインターネット犯罪の被害防止につなげようと、毎年福井大学、福井工大、仁愛大学、そして仁愛女子短期大学に「サイバー防犯ボランティア」を委嘱。本学から生活情報デザイン専攻2回生の小林音巴さん、塩田和さん、柴田瑞希さん、森井美樹さんの4名が参加。5月26日に県警本部で委嘱式があり、森井さんが代表で出席。「デザインを学んでいることを、ポスター制作などで活かすことで同世代の人たちに活動を知ってもらい、防犯意識を高めてほしい」と構想を語りました。

近年ネットでのなりすましや個人情報の搾取など、ス

マホを日々使用する未成年者にもサイバー被害が広がっている現状をレクチャーされた4人は、仁短での学びを活かしたコピー

(言葉)とピクトグラムで21種類の啓発ポスターをデザイン。10月22日の仁短祭での展示や、12月16日の県警による仁愛女子高校での講演に協力しました。



5月26日に福井県警本部にて、サイバー防犯ボランティアの委嘱式に出席しました。



10月22日の仁短祭で、カフェテリア廊下でポスターを展示しました。



12月16日仁愛女子高校において、福井県警の「高校生における情報モラル講演」に同行。ポスターを紹介しながら、いかにサイバー犯罪に巻き込まれないか、という啓発活動を行いました。

